

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

経営方針

クラッチ・ブレーキの総合メーカーとして盤石な企業体質を築き、お客様から愛される企業を目指す。

売上高営業利益率
5.0%

ROE
6.3%

総資産回転率
1.0回転

売上高成長率
110%

② 中長期の経営戦略

1. EV化対応製品開発

輸送機器用事業でパワートレイン系ソレノイド・モーター用保持ブレーキ・燃料電池用ブロワなどEV対応製品と既存カーエアコン用クラッチの全方位展開を強化。

3. 事業領域の拡大

パーツレイヤーからユニットレイヤー・システムレイヤーへ製品領域を拡大し、高付加価値化を重視。

2. ロボット市場への進出

労働力不足による協働ロボット市場の拡大を見込み、軽量・静音・小径・薄型など差別化した製品開発を推進。

4. 財務体質強化

棚卸資産の圧縮・不良損失削減によるムダ削減と、商品別・顧客別採算管理の精緻化で利益志向へ転換。

③ 対処すべき課題

① 高付加価値事業への転換

- ・ EV化対応製品の開発・提案強化
- ・ ロボット関連製品への注力
- ・ 既存製品の性能向上とコスト改善

② 人材確保とエンゲージメント

- ・ 優秀人材確保のための魅力的な人事制度構築
- ・ 働きやすい職場環境と多様性対応
- ・ エンゲージメントサーベイによる評価・改善

③ 生産管理と業務効率化

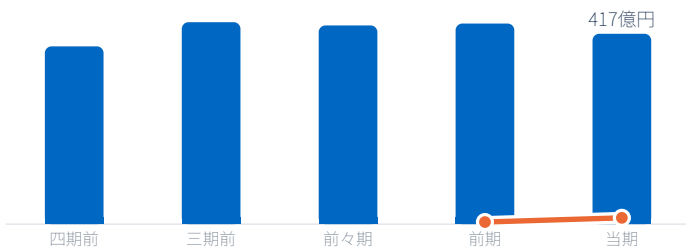
- ・ サイクルタイム短縮と設備稼働率向上
- ・ 生産管理システムの一新と管理レベル向上
- ・ 間接部門のIT化と業務標準化

面接で使えるポイント

- ・ 小倉クラッチは5,000種類以上のクラッチ・ブレーキラインナップを持ち、専門メーカーとしての強みで100年企業を目指す。
- ・ 自動車の100年に一度の変革期において、EV化対応製品と既存製品の全方位展開で安定した利益を確保する戦略。
- ・ 協働ロボット市場など一般産業用事業の拡大で、クラッチ・ブレーキ技術を新分野へ融合・応用する取り組み。

証券コード 6408

業績の推移（売上＝棒／営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
41.7億円営業利益率
3.3%財務健康度
22点 / 100点

将来性 曇り / 就活偏差値 38.7（当サイト算出の参考指標）

平均年収
553万円

機械内 183位/208社

平均年齢
43.3歳

機械内 73位/209社

平均勤続
18.6年

機械内 35位/209社

女性管理職
0.0%

機械内 167位/168社

男性育休
85.7%

機械内 82位/169社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

参考: 小倉クラッチ(株)【6408】：決算情報

